

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第16週の発生動向

トピックス

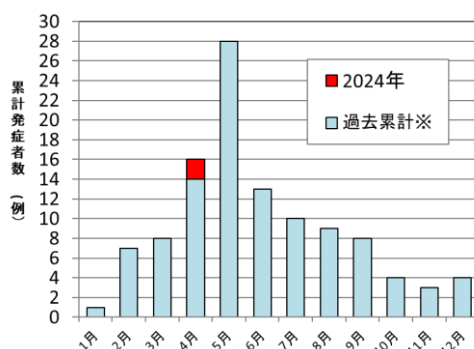
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が都城保健所管内からあった。患者は80歳代の女性で、ダニの刺し口があった。県内での報告は、累計111例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	5	26	42	28	6

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



※2013年3月から2023年まで

全数報告の感染症 (16週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。
- 2類感染症：結核2例。
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、つつが虫病1例。
- 5類感染症：梅毒5例、百日咳2例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	肺結核	痰、発熱
			80歳代	女	肺結核	発熱、呼吸困難
3類	腸管出血性大腸菌感染症	小林	40歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O112(VT2)
4類	重症熱性血小板減少症候群	都城	80歳代	女	—	発熱、神経症状、嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、消化管出血、刺し口
	つつが虫病	小林	40歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、鼠径部リンパ節腫脹
			30歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		都城	60歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹、ぶどう膜炎
			70歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹、ぶどう膜炎
	高鍋	50歳代	女	無症状病原体保有者	なし	
百日咳	宮崎市	5~9歳	女	—	持続する咳	
		80歳代	女	—	持続する咳	

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は740人(定点当たり18.5)で、前週比93%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はインフルエンザと新型コロナウイルス感染症及びRSウイルス感染症であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は167人(2.9)で、前週比89%と減少した。高千穂(7.5)、中央(5.0)、延岡(3.4)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が約半数を占めた。

【インフルエンザ】

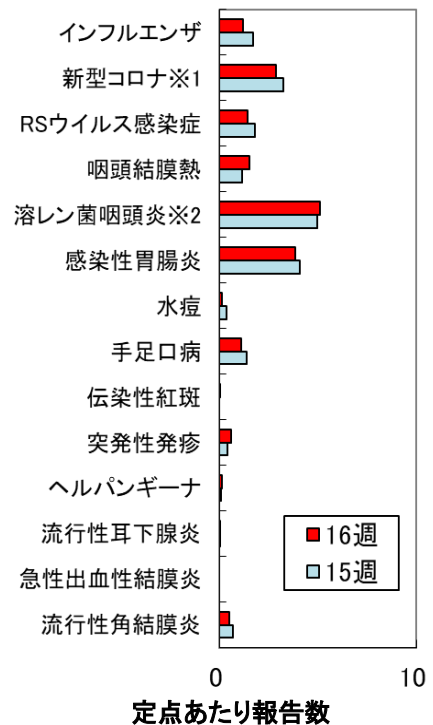
報告数は70人(1.2)で、前週比71%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.63)の約1.9倍であった。中央(2.5)、都城(2.3)、宮崎市(1.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が約8割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は184人(5.1)で、前週比103%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(1.9)の約2.7倍であった。日南(7.0)、宮崎市(6.1)、都城(5.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は3歳から8歳が全体の約7割を占めた。

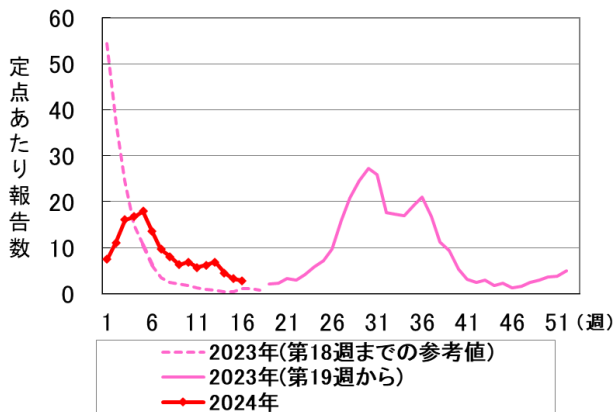
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》



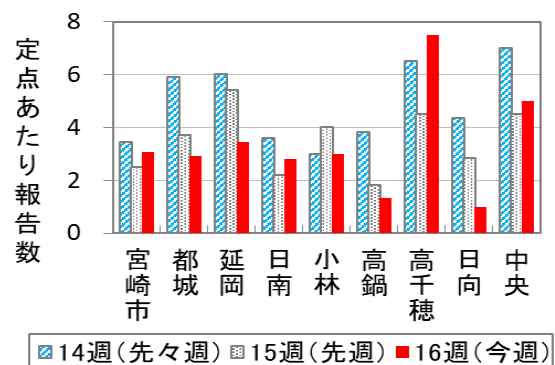
※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症 発生状況

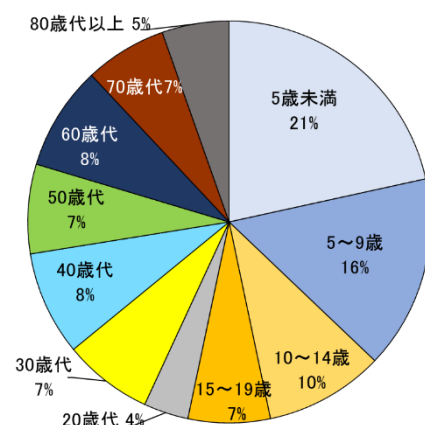


※新型コロナウイルス感染症の第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

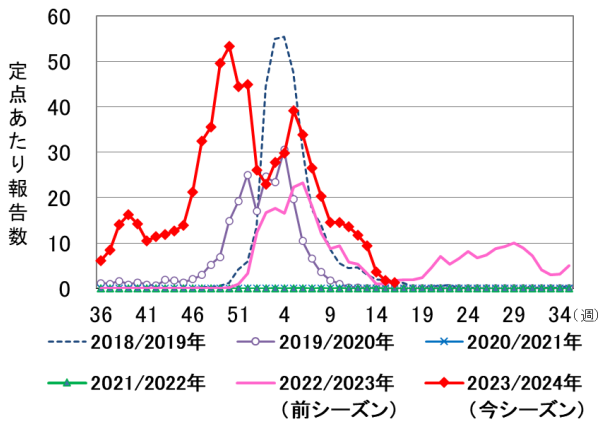
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



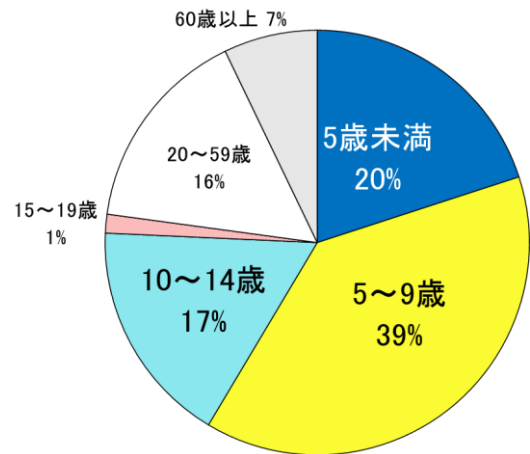
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第16週)



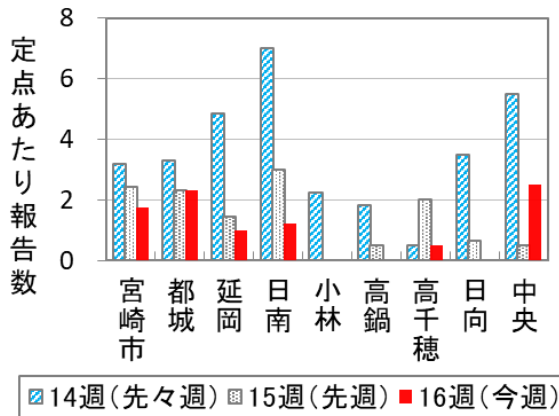
インフルエンザ 発生状況



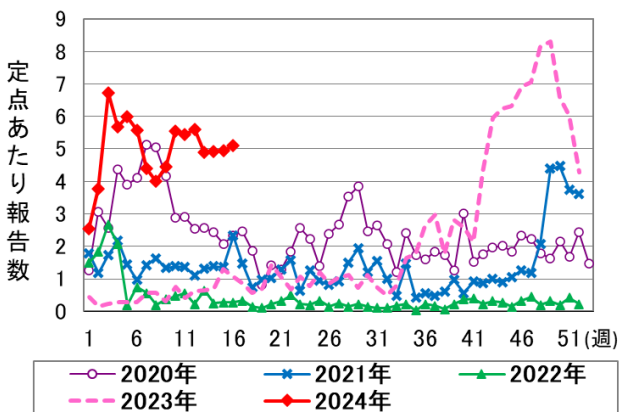
インフルエンザ年齢群別グラフ(第16週)



インフルエンザ 保健所別推移(3週分)

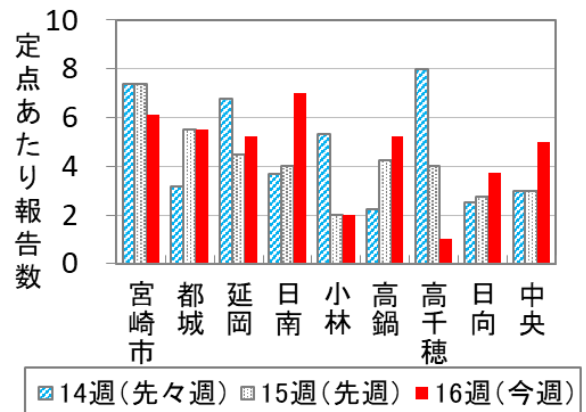


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	咽頭結膜熱(3.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※
・咽頭結膜熱(3)

📊 全国 2024 年第 15 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	249 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	24 例		
4類感染症	E型肝炎	12 例	A型肝炎	2 例	エムポックス	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	3 例	つつが虫病	1 例	デング熱	4 例
	日本紅斑熱	3 例	マラリア	2 例	レジオネラ症	24 例
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	31 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	8 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	21 例	後天性免疫不全症候群	7 例	ジアルジア症	3 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	11 例	侵襲性肺炎球菌感染症	46 例	水痘(入院例)	9 例
	梅毒	184 例	播種性クリプトコックス症	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	21 例	風しん	1 例		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 90%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症、手足口病で、減少した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症であった。

インフルエンザの報告数は 13,245 人(2.7)で前週比 53%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.89)の約 3 倍であった。山形県(8.0)、新潟県(5.8)、鳥取県(5.5)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 18,297 人(3.7)で前週比 87%と減少した。秋田県(8.8)、岩手県(7.8)、青森県(7.3)からの報告が多く、年齢群別では 20 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2024年 第16週(04月15日～04月21日)

疾病名		第15週	第16週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	99	70	28	23	7	6			1		5
	定点当り	1.71	1.21	1.75	2.30	1.00	1.20	0.00	0.00	0.50	0.00	2.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	188	167	49	29	24	14	12	8	15	6	10
	定点当り	3.24	2.88	3.06	2.90	3.43	2.80	3.00	1.33	7.50	1.00	5.00
RSウイルス感染症	報告数	64	51	15	8	3	2	4	1		8	10
	定点当り	1.78	1.42	1.50	1.33	0.75	0.67	1.33	0.25	0.00	2.00	10.00
咽頭結膜熱	報告数	41	54	24	5	4	2	11	3		4	1
	定点当り	1.14	1.50	2.40	0.83	1.00	0.67	3.67	0.75	0.00	1.00	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	178	184	61	33	21	21	6	21	1	15	5
	定点当り	4.94	5.11	6.10	5.50	5.25	7.00	2.00	5.25	1.00	3.75	5.00
感染性胃腸炎	報告数	147	139	37	29	4	19	25	8	2	12	3
	定点当り	4.08	3.86	3.70	4.83	1.00	6.33	8.33	2.00	2.00	3.00	3.00
水痘	報告数	13	5	1	3			1				
	定点当り	0.36	0.14	0.10	0.50	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	50	40	30	4			5				1
	定点当り	1.39	1.11	3.00	0.67	0.00	0.00	1.67	0.00	0.00	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	14	21	9	3	4	1	1	1		2	
	定点当り	0.39	0.58	0.90	0.50	1.00	0.33	0.33	0.25	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	4	3				1				
	定点当り	0.06	0.11	0.30	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	1			1						
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	4	3	3								
	定点当り	0.67	0.50	1.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～16週 保健所受理分)

2類感染症	結核	25例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6例(1)		
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	2例(1)
	日本紅斑熱	1例	レジオネラ症	4例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例	後天性免疫不全症候群	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	3例	水痘(入院例)	3例
	百日咳	18例(2)	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例
			梅毒	53例(5)

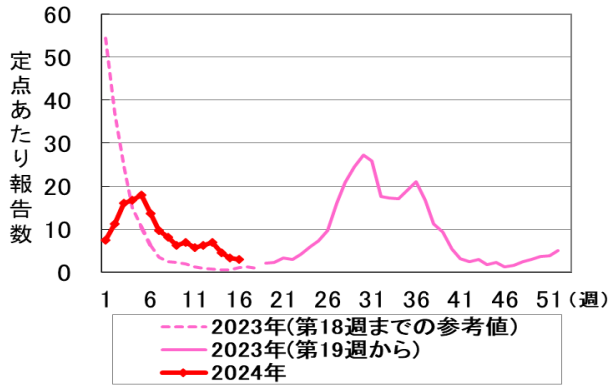
()内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第16週、全国第15週（再掲）》

□ 県内第16週 新型コロナウイルス感染症発生動向

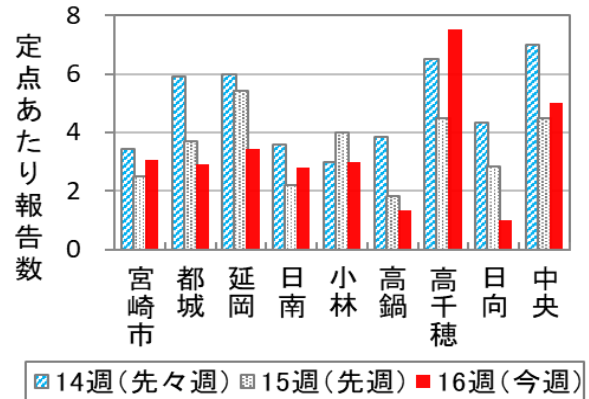
4月15日～4月21日までの1週間で167人(2.9)の報告があった。前週比89%と減少し、高千穂(7.5)、中央(5.0)、延岡(3.4)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況

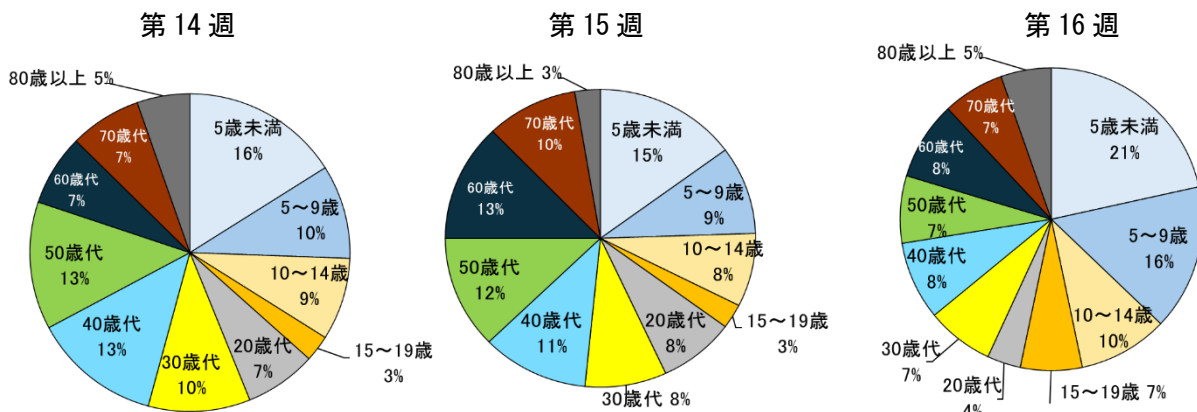


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

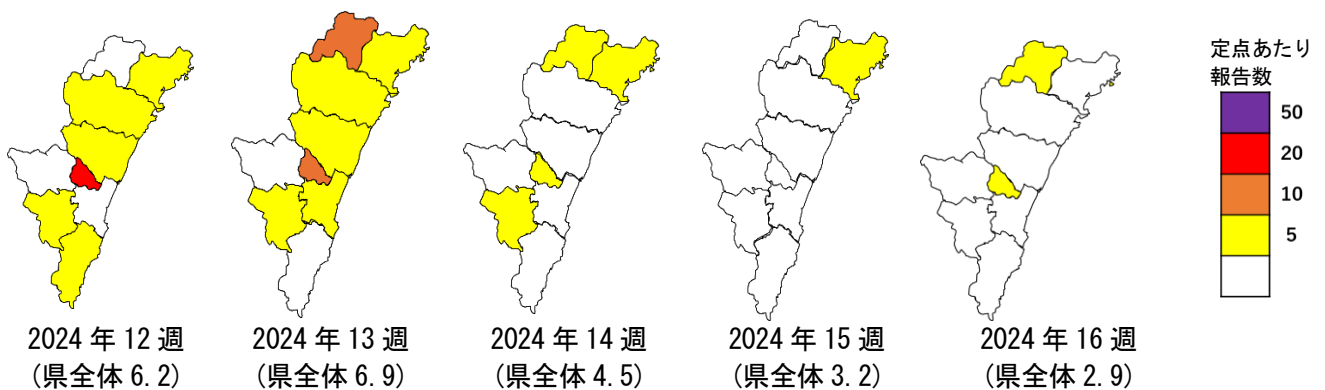
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024年第12週～2024年第16週



* 県独自の基準によるもの

□ 全国第15週 新型コロナウイルス感染症発生動向

4月8日～4月14日までの1週間で18,297人(3.7)の報告があった。前週比87%と減少し、秋田県(8.8)、岩手県(7.8)、青森県(7.3)からの報告が多かった。年齢群別では20歳未満が全体の約3割を占めた。